

研究機関：広島大学

研究課題名	神経内視鏡手術に関する研究
研究責任者名	広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之
研究期間	2018年 11月(倫理委員会承認後)～ 2020年 12月
対象者	1998年1月から2016年9月の間に、広島大学病院脳神経外科で神経内視鏡手術を受けた患者。
意義・目的	神経内視鏡手術は最近10年ほどで普及してきた比較的新しい手技です。その安全性、有用性は示されてきましたが、長期成績や個々の症例に対する詳しい検討はまだ不十分といえます。広島大学病院では神経内視鏡が導入され約18年が経過しました。広島大学病院で行ってきた神経内視鏡手術を詳しく検討し、その有用性と問題点を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容はMRI所見、手術手技、手術合併症、病理組織診断などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5227 広島大学病院脳神経外科 助教 木下康之